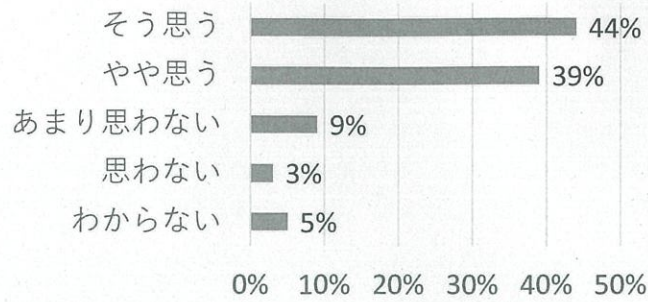
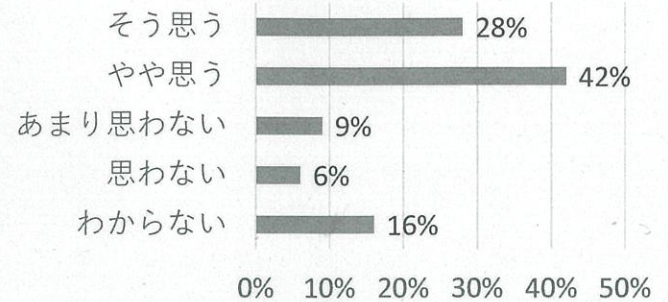


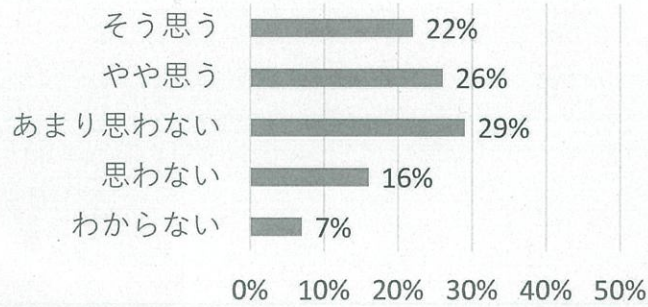
1 1 お子さまは、お互いを尊重し、好ましい友人関係をつくっている



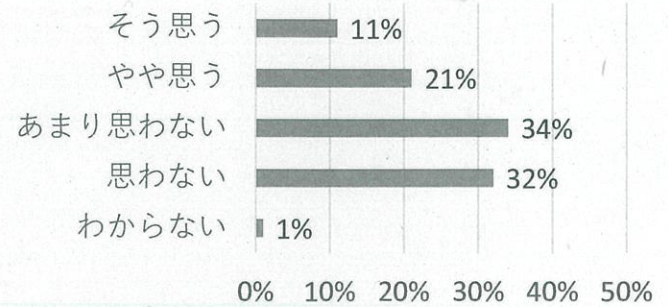
1 2 教員は、お子さまや保護者の悩み・相談に親身になって応じている



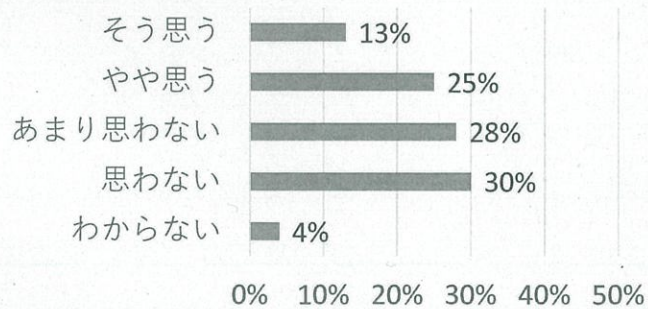
1 3 お子さまは、夢や志、将来の目標などある程度描いている



1 4 お子さまは、スマホやゲームなどの時間を決めて



1 5 お子さまは、地域の行事やボランティア活動に参加している



先月開催した生徒会が参加する学校運営協議会で、学校評価（生徒・保護者）について話し合いを行いました。主に次の点が課題としてあげられました。

- (1) 生徒と保護者の回答にずれがある。
- (2) 保護者の回答にわからないという回答が多い設問がある。
- (3) 家庭学習の習慣が定着していない。
- (4) スマホやゲームなどの時間が守れていない。
- (5) 地域の行事やボランティア活動に参加している生徒が約半数である。

(1) (2) については、生徒からは「学校の様子について、保護者と話す機会を増やす」、また学校からはコロナ禍で学校に来てもらう機会が少ないので、学校だよりや学年だより、学校のWebページ等を充実させ、より多くの情報を発信をしていき学校の取組を知ってもらうという解決策が出ました。

(5) については、地域の方から、ボランティア活動は地域から依頼されたものに参加するだけでなく、近所や地域での何気ないお手伝いもボランティア活動になるという話を受け、まず身近なことから取り組むことから始めること、地域のニーズを学校（生徒会）が把握するという解決策が出ました。

(3) (4) については、生徒自身の自覚を促すとともに、学校と家庭が連携して取り組むことが大切であることを確認しました。